

第2回 品川区議会 議会報告会 報告書



日 時：平成29年5月13日（土）15:00～17:00

場 所：きゅりあん7F イベントホール

【目次】

1. 議会報告会 開催の経緯等	1
【1】開催の経緯	1
【2】開催の趣旨(目的)	1
【3】開催に向けた役割分担等	1
2. 議会報告会 実施内容	4
【1】プログラム・内容	4
【2】当日配付物	5
【3】当日参加者数	5
【4】当日の進行	5
【5】質問への回答<当日回答分>	1 1
【6】その他の主なご質問および回答<後日回答分>	1 3
【7】その他の主な質問・ご意見	1 4
【8】意見交換会での主なご意見・ご要望等	1 4
【9】アンケート集計結果	1 5
3. 開催の総括	1 7
【1】事前準備	1 7
【2】開催日当日	1 7
【3】今後に向けて	1 7
《別添資料》	
【1】参加者への当日配付資料	1
【2】役員（全議員）への配付資料	5 3
【3】議会報告会周知用ポスター・チラシ	5 6

1. 議会報告会 開催の経緯等

【1】開催の経緯等

品川区議会では、平成 27 年 6 月から「区民に開かれた議会」「議会の活性化」を目指して、議会改革検討会を設置し検討を進めてきました。その取組みの一つとして、平成 28 年 5 月 31 日に第 1 回議会報告会を開催したところ 140 名を超える参加をいただいた中で参加した区民の皆様から継続して開催してほしいとの要望を多数いただき、区民の議会に対する関心の高さが窺えたことから、今年度、第 2 回議会報告会を開催することといたしました。

◇ 分科会・実行委員会の実施実績^{注1}

平成 28 年	6 月 2 日	第 13 回住民参加分科会
平成 28 年	6 月 21 日	第 14 回住民参加分科会
平成 28 年	7 月 28 日	第 15 回住民参加分科会
平成 28 年	8 月 25 日	第 16 回住民参加分科会
平成 28 年	9 月 14 日	第 17 回住民参加分科会
平成 28 年	9 月 28 日	第 18 回住民参加分科会
平成 28 年	10 月 18 日	第 19 回住民参加分科会
平成 29 年	1 月 18 日	第 21 回住民参加分科会
平成 29 年	2 月 17 日	第 1 回議会報告会実行委員会 ^{注2}
平成 29 年	3 月 21 日	第 2 回議会報告会実行委員会
平成 29 年	4 月 6 日	第 3 回議会報告会実行委員会
平成 29 年	4 月 24 日	第 4 回議会報告会実行委員会
平成 29 年	4 月 28 日	リハーサル（全体打ち合わせ）
平成 29 年	5 月 8 日	第 5 回議会報告会実行委員会

注 1) 議会報告会を議題とした回のみ掲載

注 2) 2 月より議会報告会実行委員会を新たに立ち上げ

【2】開催の趣旨（目的）

「議会報告会実行委員会」では「議会報告会の実施について」において、開催の趣旨(目的)を以下のとおり位置づけ、議会改革検討会および議会運営委員会にて確認されました。

『区民により身近な区議会であることを目指し、区議会のことを知っていただくため、議会活動の状況等を区民にお知らせするとともに、広く区民の意見を聴く機会とする。双方向の対話から政策の充実を図り、活力ある区政の発展につなげる。』

【3】開催に向けた役割分担等（平成29年5月13日現在）

議会報告会は、「全議員の参加」を前提として、事前の準備および当日の担当を、以下のように割り振りました。

◇ 事前の準備

ポスター等作成班	3	◎高橋 しんじ（無） ○石田 秀男（自） 新妻 さえ子（公）	
備品等準備班 （質問・アンケート 用紙名札ほか）	6	◎石田 ちひろ（共） ○新妻 さえ子（公）	横山 由香理（自） あくつ 広王（公） いながわ 貴之（民） 筒井 ようすけ（維）★

◇ 当日の担当

司会係	2	◎南 恵子（共） ○新妻 さえ子（公）	
進行係		◎たけうち 忍（公） ○石田 秀男（自）	高橋 しんじ（無） つる 伸一郎（公）
運営係	10	◎つる 伸一郎（公） ○高橋 伸明（自） 高橋 しんじ（無）	鈴木 ひろ子（共） 筒井 ようすけ（維）★ 渡辺 裕一（自） 飯沼 雅子（共） あべ 祐美子（民） 吉田 ゆみこ（ネ） 西本 貴子（無）
会場設営係 （登壇者8名、 兼務者5名 を含む）	16	◎石田 秀男（自） ○沢田 洋和（自） 高橋 しんじ（無）	大沢 真一（自） 浅野 ひろゆき（公） 本多 健信（自） 松澤 利行（自） 渡辺 裕一（自） 渡部 茂（自） あくつ 広王（公） 若林 ひろき（公） 飯沼 雅子（共） あべ 祐美子（民） 石田 しんご（民） 吉田 ゆみこ（ネ） 西本 貴子（無）

受付係	7	◎伊藤 昌宏（自）	鈴木 真澄（自） 鈴木 博（自） 塚本 よしひろ（公） 中塚 亮（共） 木村 けんご（民） 須貝 行宏（維）★
案内係	8	◎松永 よしひろ（民） ○石田 ちひろ（共）	横山 由香理（自） こんの 孝子（公） 安藤 たい作（共） のだて 稔史（共） 筒井 ようすけ（維） 田中 さやか（ネ）
記録係	2	◎藤原 正則（維）	○いながわ 貴之（民）

注1) ◎はリーダー，○はサブリーダー、左枠内は議会報告会実行委員会のメンバー
★は当日欠席いたしました

注2) 氏名横の（ ）は、会派等を示す

自：品川区議会自民党・子ども未来

公：品川区議会公明党

共：日本共産党品川区議団

民：民進党・無所属クラブ

維：維新・無所属品川

ネ：品川・生活者ネットワーク

無：会派に属さない議員

2. 議会報告会 実施内容

【1】プログラム・内容

14:55 <<第1部>>

進行上のお願い 議会報告会実行委員 新妻 さえ子

- ・ご参加のみなさまへのお願い

開会あいさつ 議会報告会実行委員長 たけうち 忍

主催者あいさつ 品川区議会議長 大沢 真一

- ・議会のしくみ
- ・議会改革の取り組み

常任委員会報告 総務委員長 松澤 利行

- ・災害復旧条例・災害復旧特別会計条例について

区民委員長 石田 しんご

- ・都市型観光について

厚生委員長 渡部 茂

- ・行政視察と所管事務調査について
- ・今後の福祉施設の整備状況について
- ・品川“くるみ”認知症ガイドについて

建設委員長 若林 ひろき

- ・品川区廃棄物の処理および再利用に関する条例改正について

文教委員長 あくつ 広王

- ・平成29年度の保育定員拡大について
- ・私立保育園に対する開設後家賃補助および職員宿舍借り上げ支援事業の拡大について

予算特別委員会報告 予算特別委員長 本多 健信

- ・平成29年度予算について

15:45 〔休憩；区議会紹介番組（10分×2本）上映〕

『品川区議会の歴史』

『委員会を知ろう！』

16:10 <<第2部>>

質問への回答（計9件）

意見交換会

- ・3択クイズ
- ・「身近な防災」について
- ・議会、議員へのご意見
- ・各テーブルの主な意見の発表

発表者 鈴木ひろ子、飯沼雅子、吉田ゆみこ

17:00

閉会あいさつ 品川区議会副議長 浅野 ひろゆき

【2】当日配付物（受付で手渡し）

- | | |
|-----------------|--------------------|
| ①次第 | ⑥委員会報告一覧（右半分はメモ用紙） |
| ②質問用紙 | ⑦委員会報告レジュメ |
| ③アンケート用紙 | ⑧アルファ化米 |
| ④ご参加のみなさまへのお願い | ⑨我が家の防災ハンドブック |
| ⑤小冊子「わたしたちと区議会」 | ⑩防災用品あっせんのご案内 |

【3】当日参加者数

65人（受付における資料配付数より算出）

【4】当日の進行

- (1) 司会進行 議会報告会副委員長 南 恵子
(2) 進行上のお願い 議会報告会委員 新妻 さえ子
・配布資料等の確認と参加者へのお願い等について



- (3) 開会あいさつ 議会報告会実行委員長 たけうち 忍

・議会報告会実行委員会での議論の経緯と前回からの改善点等について



(4) 主催者あいさつ 品川区議会議長 大沢 真一

- ・議会改革の取り組み等について



(5) 常任委員会報告

① 総務委員会 委員長 松澤 利行

- ・災害復旧基金条例、災害復旧特別会計条例について



②区民委員会 委員長 石田 しんご

- 都市型観光について



③厚生委員会 委員長 渡部 茂

- 所管事務調査と行政視察について
- 直近で開設の高齢者福祉施設について
- 認知症の取り組みについて



④建設委員会 委員長 若林 ひろき

- ・品川区廃棄物の処理および再利用に関する条例改正について



⑤文教委員会 委員長 あくつ 広王

- ・平成29年度の保育定員拡大について
- ・私立保育園に対する開設後家賃補助および職員宿舍借り上げ支援事業の拡充について



(6) 予算特別委員会報告 委員長 本多 健信

- ・平成29年度予算について



(7) 質問への回答

- ・各委員長から回答した（質疑内容は後に記載）

(8) 意見交換会

●3択クイズ

Q.1 地震発生。私は、南大井3丁目に住んでいます。

鈴ヶ森小学校へ避難しました。受付で避難者カードを記入し、教室へ避難。さて、どの教室へ行けばいいのでしょうか？

- ①住所ごとに教室へ
- ②町会ごとに教室へ
- ③到着順に自由に好きな教室へ

A.1 ②町会ごと教室へ

Q.2 地震発生。我が家にはペットがいます。犬の右近くんとネコの左近ちゃん。

ペットと一緒に避難所に行かなきゃ。さて…。

- ①区内には、ペットと一緒に避難する人だけの専用避難所が1ヶ所ある。
- ②原則として避難所にペットを連れていけます。
- ③すべての避難所でペットは、連れていけません。

A.2 ②原則として避難所にペットを連れていけます。

Q.3 区には、防災行政無線（135ヶ所）があります。毎日午後5時に機器の状況確認も兼ねて、曲が流れています。さて、その曲名は？

- ①ふるさと 「ウサギ追いし、かの山…」
- ②夕焼け小焼け 「夕焼け小焼けて日が暮れて…」
- ③品川音頭 「品川よいところ、その昔…」

A.3 ②「夕焼け小焼け」



●「身近な防災」について / 議会・議員へのご意見

各テーブルに議員が2～3名ずつ座り、参加者から、ポストイット等に意見を記入してもらうなど、活発な意見交換を実施した



●各テーブルの主な意見の発表

複数のテーブルの主な意見について、鈴木ひろ子議員、飯沼雅子議員、吉田ゆみこ議員より発表があった



(9) 閉会のあいさつ 品川区議会副議長 浅野 ひろゆき

- ・閉会に際して、参加者へのお礼



【5】質問への回答 <当日回答分>

(1) 総務委員会

Q：林試の森公園近くの都有地と公務員住宅の跡地に、保育園、高齢者施設、スポーツ・文化施設の建設を検討してほしい。

A：東京都は、当該跡地を公園とし、広域避難場所である林試の森公園と一体化することで避難所機能の拡大に繋げようとしている。

一方、区としても5,000㎡を購入したい旨を国に申し入れをしており、活用については、行政需要を勘案し、幼稚園や高齢者施設など様々検討する予定である。

(2) 区民委員会

Q：平成18年に観光アクションプランが策定され、その後の改定が平成27年となっているが、10年かかった原因は何か？

A：品川区都市型観光アクションプランは、計画期間を平成18年からの10年間と定めていたためである。また、平成27年の計画期間満了に伴い、計画改定が行われ、あらたな観光プランについても計画期間は10年間となる。

Q：観光客の目標人数はあるか？

A：品川区だけの目標数を設定することは困難であることから、東京都全体で目標数を設定するのが現実的である。

(3) 厚生委員会

Q：国保料引き下げへの区民税の投入、特養待機者ゼロを目指す取り組みはどうなっているか？

A：国民健康保険制度については、制度維持に向け取り組むことが重要であると考えている。また、特別養護老人ホームについても、取り組むべき喫緊の課題であるが整備にあたり財政負担、建設地の確保のほか在宅介護の充実などを含め様々な視点から複合的に検討する必要がある。

Q：社会教育推進のため生涯学習課を設置してほしい。

A：文化スポーツ振興部に生涯学習係を設置しており、当該係においてシルバー大学を含め生涯学習の促進を図っている。

(4) 建設委員会

Q：ごみ処理有料化について、一般家庭の負担はどのようになるのか、有料袋を購入する花や雑草、木などは無料にしてほしい。

A：家庭廃棄物については、通常、45ℓ4袋分程度までは、料金は発生しないが、10kg超又臨時の廃棄物が生じた際は有料であり、実費徴収となる。なお、草花や雑草、木についても、同様の取扱いである。

(5) 文教委員会

Q：区議会だよりに医療的ケアの必要な子どもの保育園や幼稚園の受け入れについて質問している議員が何名もいたが品川区にも対象の子どもが住んでいるのか？

A：実数の把握は困難であるが、10名から20名ほど在住であると区から聞いている。

Q：小学校に比べて建て替えが必要な中学校が多いと聞いているが、今後の計画等があれば、教えてほしい。

A：区では現状、特定の中学校について具体的に建て替えを計画してはないが就学人口の動向、老朽化等を勘案し、適宜、改修などを行う考えである。

(6) 予算特別委員会

Q：八潮地区のまちづくり検討の具体的な内容について。

A：今後、課題整理のため会議体（勉強会）を立ち上げる予定であり、区としては、その中で地域等の意見を聴きながら、ニーズなどを把握するとともに都内の他地区における団地再生の実態調査等についても実施していく予定である。

【6】その他の主なご質問および回答 <後日回答分>

(1) 総務委員会

Q：事業実施によるOUTPUT（結果）指標値とOUTCOME（成果効果）指標値を示してほしい。

Q：総合実施計画と事業評価報告も示してほしい。

A：総合実施計画は定期的に見直されており、平成28年4月発行の第4次総合実施計画には指標値が掲載されている。また、事業評価報告は事務事業評価報告として、不定期だが発行している。

(2) 建設委員会

Q：福祉避難所の一覧やマップがあれば教えてほしい。

A：品川区のホームページに掲載している品川区地域防災計画本篇199ページに記載されている。マップについては、今後の検討となる。

Q：コミュニティ意識が薄らいでいる中、マンションや集合住宅などの居住者に対して、どのように防災意識の向上を働きかけていこうとしているのか？

A：今年度からマンション防災アドバイザーを無料で派遣し、講演や訓練のサポートを実施するなど、防災意識の向上に取り組んでいく。

(3) 文教委員会

Q：保育士への家賃補助は児童福祉施設の従業員は対象になるのか？

A：現状、対象としていない。

(4) 予算特別委員会

Q：一般会計歳出で平成29年度（平成28年度と比して）の土木費が減って教育費が増えた理由は何か？

A：土木費は、主に再開発事業費の減少によるためである。一方、教育費は、主に学校改築事業費が増加したためである。

【7】その他の主な質問・ご意見

※議会として、考え方が一致していない等の理由により、回答は控えさせて頂きました。

- ・高層マンションが建築されているが、学校・幼稚園・駅の混雑等、生活インフラに限界が来ているのではないか。人口増加は良いことだが、この辺で人口抑制をした方が良いのではないか。
- ・都市型観光として重要な資源である戸越銀座商店街を29号線によって消滅させてはならない。反対すべきではないか。
- ・安心して観光してもらうために羽田増便による低空飛行に反対すべきではないか。
- ・木密地域の整備によって整地された場所にモニュメントを建てる等を含めて歴史の継承してほしい。
- ・校庭の人工芝生化はやめてほしい。火の使用など、いろいろなことが出来なくなるため。

【8】意見交換会での主なご意見・ご要望等

(1) 災害（地震）に関して、不安に思っていること。

① 避難場所、避難方法について

- ・場所がわからない
- ・火災、倒壊などによって避難場所まで行けるかわからない
- ・避難所に何を携えていけばよいかわからない
- ・どの時点で避難をすれば良いのか
- ・障害がある方の避難の仕方
- ・エレベーターの停止による高齢者の避難

② 災害発生による二次災害（倒壊、火災、水害）等について

- ・木密地域の火災が不安
- ・消火活動ができるか不安
- ・下水道の破損によるトイレの問題
- ・停電時の在宅医療機器に対する電気供給
- ・品川区と近隣区との災害時の連携
- ・津波災害の避難先が八潮であること

(2) 災害（地震）に備えて、ご家庭、ご自分で準備、または、心がけていることは

- ・携帯電話用の予備バッテリーを準備している
- ・家族全員の水や食料を個別にリュックに準備している
- ・防災訓練にすすんで参加している
- ・家族でルールを決めている
- ・家具転倒防止対策をしている

(3) これまでの話し合いを通じて、ご自分で、または、ご家庭で実行しようと思ったこと

- ・家族同士で災害に備えてルールをつくりたい

- ・防災用品を確認し充実させたい
- ・家族間で連絡手段を確認したい
- ・家族全員で避難訓練に参加したい
- ・家族の居場所確認を徹底したい
- ・区外在住の家族と防災について話し合う
- ・防災備蓄品を家族全員で食べ、新たに補充するサイクルを通じて防災意識の向上に繋げたい。また、家族で必要なものについて話し合いをしたい

(4) その他のご意見、ご要望

- ・行政情報がダイレクトに入るような仕組みづくりをしてほしい
- ・一時避難場所の備蓄の充実をしてほしい

【9】アンケート集計結果

＜回収総数 46枚＞ 以下、カッコ内は実回答数

(1) お住まいの地域 (43)

区内 品川地区： 1 大崎地区： 2 大井地区： 12
 八潮地区： 3 荇原地区： 12 地区未記入： 11
 区外 2

(2) 性別 (40)

男性：22 女性：18

(3) 年代 (44)

10歳代： 1 20歳代： 2 30歳代： 6 40歳代： 9
 50歳代： 3 60歳代： 12 70歳代： 7 80歳代： 3

(4) 議会報告会参加のきっかけ (59)

議員の紹介： 16 区議会だより： 12 ふれあい掲示板ポスター： 5
 広報しながわ： 4 街中ポスター： 4 チラシ： 0 知人： 8
 区議会ホームページ： 1 その他： 5 (回覧など)

(5) 各委員会の報告について

①総務委員会 (38)

わかりやすかった： 26 わかりにくい： 2 どちらでもない： 10

②区民委員会 (37)

わかりやすかった： 26 わかりにくい： 2 どちらでもない： 10

③厚生委員会 (39)

わかりやすかった： 29 わかりにくい： 1 どちらでもない： 9

④建設委員会（39）

わかりやすかった：28 わかりにくい：1 どちらでもない：10

⑤文教委員会（38）

わかりやすかった：31 わかりにくい：1 どちらでもない：6

⑥予算特別委員会（39）

わかりやすかった：28 わかりにくい：1 どちらでもない：10

(6) 意見交換会について（33）

よかった：30 悪かった：0 どちらでもない：3

(7) 開催日時の設定について

①日にち（40）

参加しやすい：35 参加しにくい：5

②時間（37）

ちょうど良い：26 長かった：1 短かった：10

③要望

- ・意見交換の時間は短く、慌ただしい、もう少し長い方が良い
- ・民間企業勤めの方が参加しやすいよう平日夜の開催を希望する
- ・平日の19：30～21：30が良い
- ・開催時間が中途半端、もっと長くても良い
- ・若者を対象に開催してはどうか

(8) 報告会全体の評価について（34）

よかった：31 悪かった：1 どちらでもない：2

(9) 自由意見欄

- ・開催回数を増やしてほしい、半年に1回程の開催頻度にしてほしい
- ・意見交換が駆け足であった
- ・もっと区民が参加しやすいよう周知をしてほしい
- ・若者を対象に開催してはどうか
- ・意見交換の時間を長くしてはどうか
- ・レジメがわかりにくいのでポイントを絞った資料の作成を
- ・各委員会の内容を深く知りたいので、テーマをわかりやすくしてほしい
- ・初参加で勉強になった
- ・委員会、本会議の傍聴に行きます
- ・その場で質問に答える仕組みがよい
- ・保育室があって大変助かった
- ・どの委員会もわかりやすく、区政の現状を理解できた。特に、文教委員会は役所言葉の補足説明に加え、冒頭に議論の前提となる区政の現状が示されており、参加者のことをよく考えていると感じた

3. 開催の総括

【1】事前準備

(1) 周知・広報

- ・町会に加入していない方に対する周知方法を今後検討すべき
- ・街場においてポスターを貼るスペースがなかったため開催の周知が十分に図れなかった

(2) 配付物準備

- ・配付物準備担当の議員以外にも自主的に準備に参加し会派を越えて団結して作業ができた

【2】開催日当日

(1) 会場設営

- ・事前の綿密な打ち合わせの結果、当日はスムーズに設営を行うことができた

(2) 各委員会報告

- ・資料は1冊にまとめるとともにページ番号や委員会名を記載し配布した方がよかった
- ・各委員長のプレゼン、資料作成とも好評でレベルアップした
- ・事業内容にとどまらず委員会審議（質疑）の内容を報告すべき
- ・全委員会の報告が必要かどうか、今後検討してはどうか
- ・言葉が難しく区民には理解しにくいものもあったので補足説明などが必要
- ・委員会報告をやめ意見交換のみにしてはどうか

(3) 意見交換

- ・時間が短く消化不良だったのでもっと時間を取ってもよいのでは
- ・テーマごとに時間指定がされていたが、時間配分は各テーブルに任せてほしい
- ・クイズの内容、量ともに適切で、気持ちや和み、良い雰囲気の中で意見交換が行えた
- ・各テーブルの発表時間がもう少しあってもよいのでは

【3】今後に向けて

当日、雨天にもかかわらず、議会報告会に参加していただきましてありがとうございました。今回は、前回のアンケート結果を踏まえ、委員長報告の際にパワーポイントで示したものを資料として配布するなどの見直しを行い、参加された皆様が理解しやすいよう工夫いたしました。

また、前回いただいた「区議会だよりの文字が小さい」などの声を反映し、「区議会だよりの」をリニューアルいたしますので、この場を借りて報告いたします。なお今回、いただいた「身近な防災」に関するご意見につきましても、今後の政策立案などの参考とさせていただきます。

今後もより一層区民に身近な区議会を目指し、また多くの区民の皆様に関心を持っていただけるように議会報告会の内容を工夫し継続的に実施して参ります。

参 考 資 料

【当日参加者への配付資料】

- 1 議会報告会プログラム
- 2 議会報告会ご参加のみなさまへ
～お願い～
- 3 委員会報告項目一覧
- 4 質問用紙
- 5 アンケート
- 6 委員会報告用資料

【役員（全議員）への配付資料】

- 1 会場図
- 2 議会報告会進行表（避難経路図つき）

【議会報告会周知用ポスター・チラシ】

議会報告会にご参加のみなさまへ

～ お 願 い ～

1. 報告会での質問と回答についてのルール

- ① 質問は、本日の報告会での内容に限らせていただきます。
- ② 質問の内容は、お手元の質問用紙にご記入の後、休憩時に集めます。
- ③ 本日回答できない場合は、質問の内容によって、後日ホームページ等で回答させていただきます。

2. 会場内でのお願い

- ① 写真撮影、ビデオ撮影は、運営に支障のない範囲でお願いします。
- ② 主催者側で記録用の写真撮影、ビデオ撮影を行います。撮影に不認可の方は、表示のある席にお掛けくださいますようお願いいたします。
- ③ 携帯電話は、電源を切るかマナーモードに設定し、会場内での通話をご遠慮ください。
- ④ 保育スペースがありますので、ご利用ください。
- ⑤ 手話・要約筆記を必要とされる方は、お申し出ください。
- ⑥ この会場は、磁気ループが設置されています。聞こえにくい方等、受信機を必要とされる方は、お申し出ください。
- ⑦ ご気分が悪くなられた方は、ご遠慮なくお近くの議員にお声がけください。
- ⑧ 会場内は、禁煙です。喫煙は指定の喫煙所をお願いします。

3. アンケート用紙について

アンケートにご協力をお願いします。終了後、お近くの議員または受付の回収ボックスへご提出ください。

4. 緊急時の避難について

・地震等の避難の際は、議員が誘導しますので、落ち着いて行動してください。

第2回品川区議会

主催：品川区議会
平成29年5月13日
きゅりあん7Fイベントホール

《プログラム》 議会報告会

第1部

- ◇ 開会あいさつ 議会報告会実行委員長 たけうち忍
- ◇ 主催者あいさつ 品川区議会議長 大沢 真一
- ◇ 常任委員会報告
 - 総務委員会委員長 松澤 利行
 - 区民委員会委員長 石田しんご
 - 厚生委員会委員長 渡部 茂
 - 建設委員会委員長 若林ひろき
 - 文教委員会委員長 あくつ 広王
- ◇ 予算特別委員会報告 予算特別委員会委員長 本多 健信



休憩 15分（区議会紹介番組放映）

※委員会報告へのご質問をご記入ください

第2部

- ◇ 質問への回答 各委員長より
- ◇ 意見交換会
 - ☆3択クイズ「防災対策あれこれ？」
 - ☆意見交換会 テーマ「身近な防災」について
 - ☆区議会だよりへの各テーブルの意見発表（代表3名）
- ◇ 閉会あいさつ 品川区議会副議長 浅野ひろゆき

質問用紙

任意記入

【お住まいの地域_____・区外 男性・女性 お名前_____】

常任委員会 総務 ・区民 ・厚生 ・建設 ・文教 予算特別委員会

お分かりになりましたら、○印をお付けください。

★休憩時に集めます。

[質問]

アンケートのお願い

本日は、ご参加いただきありがとうございました。

【お住まいの地域】 _____ ・区外 【性別】 男性・女性
 【年代】 10・20・30・40・50・60・70・80～歳代

《本日の議会報告会について》

Q1. 議会報告会への参加のきっかけ（複数可）

- ①品川区議会だより ②統合ポスター(ふれあい掲示板) ③チラシ
 ④広報しながわ ⑤議会報告会ポスター ⑥議会ホームページ ⑦議員
 ⑧知人 ⑨その他()

Q2. 常任委員会・予算特別委員会の報告について

委員会	報告の内容について○印をお付けください		
総務	①わかりやすかった	②どちらともいえない	③わかりにくい
区民	①わかりやすかった	②どちらともいえない	③わかりにくい
厚生	①わかりやすかった	②どちらともいえない	③わかりにくい
建設	①わかりやすかった	②どちらともいえない	③わかりにくい
文教	①わかりやすかった	②どちらともいえない	③わかりにくい
予算特別	①わかりやすかった	②どちらともいえない	③わかりにくい

Q3. 意見交換会について ①よかった ②悪かった ③どちらでもない

Q4. 開催日時の設定について

- 日にち ①参加しやすい ②参加しにくい
 時間 ①長かった ②ちょうど良かった ③短かった

(ご要望:)

Q5. 議会報告会の全体の評価について①よかった ②悪かった ③どちらでもない

Q6. 次回の意見交換会のテーマや本日の感想や議会への質問がありましたら お書きください。

[]

総務委員会 報告項目

品川区災害復旧基金条例

品川区災害復旧特別会計条例

大正関東地震と品川区



1923(大正12年)
9月1日
11時58分32秒

大正関東地震が
発生
(関東大震災)

死者・行方不明者
10万5,385人

「関東大震災(一) 鮫洲海岸より見る」
(竹内重雄スケッチより)

竹の子の産地だった品川区



区内の竹林で
竹の子採集(明治38年)



中延商店街もかつては
竹林に囲まれていました



条例制定の背景

「東北地方太平洋沖地震」や「熊本地震」などの大規模地震の発生

首都直下型地震は、今後、30年間に70%の確率で発生が予想

災害発生時の迅速な復旧対応が必要



「東北地方太平洋沖地震」発生後、
区議会に「震災対策特別委員会」を
設置し、品川区に災害対策の強化
を求める



当初、品川区は「基金」の制定には
消極的

総務委員会での質疑



「いざ災害というときに迅速に対応できることは良い」

「恣意的に使われないようにしておくことが必要」

「6年前の東日本大震災後に『災害復興基金等の創設』を議員より提案されていた」

「区は『災害対策基金等は作らない』と明言していた」

「唐突に新設することになった対応に違和感を覚える」



総務委員会での質疑

「災害時にスピーディーに対応できるように、一定額の現金を確保しておく必要がある」



「いつ来るかわからない震災だから、予防対策の充実こそ必要」



「特別会計の支出を復旧・復興まで広げると、区長の意思で使い方を拡大できてしまう」

総務委員会での質疑



「災害発生時の区の予算はない」

「特別会計を設置し、議会で議論を行ない、議決しておくことが迅速に対応でき、お金が使えることになる」

「基金金額、災害時に使用できる項目等、今後も議論していきたい」

「災害が発生した時に、即時的に対応できる特別会計は、経理状況を明確にすることも含めて、分かりやすい線引きになっている」



賛成多数で条例採択



※最終本会議でも、賛成多数で条例採択

- ・避難所開設、運営費
- ・輸送費
- ・被災家屋解体撤去費など

4 歳出
 (款) 1 災害復旧費
 (項) 1 災害復旧費

目	本年度	前年度	比較	節	
				区分	金額
1 災害復旧費	1,500,000	0	1,500,000		
				11 需用費	14,000
				12 役務費	78,000
				13 委託料	1,008,000
				15 工事請負費	400,000
計	1,500,000	0	1,500,000		

(単位千円)

説明			
本年度の財源内訳			
国(都)支出金	特別区債	その他	一般財源
		1,500,000	
災害救助事業費			445,000
避難所開設、運営費			338,000
輸送費			78,000
被災状況調査費			29,000
災害復旧事業費			1,055,000
被災家屋解体撤去費			455,000
公共施設災害復旧費			400,000
災害廃棄物処理費			200,000
		1,500,000	

都市型観光とは？

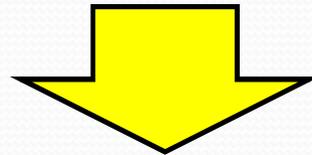
都市型観光は、名所などの観光スポットを観る従来の観光ではなく、芸術・ショッピング・飲食を楽しんだり、区民の暮らしに触れたり、地域交流をする観光。

既存の都市観光資源（社寺仏閣・商店街・水辺等）を観光目的として創出・創造することも含まれる。



これまでの取り組み

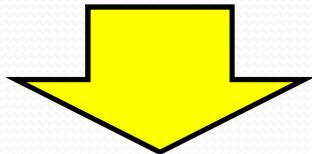
- 平成16年度「品川区都市型観光に関する基本調査」を実施
- 平成18年度末「品川区観光アクションプラン」を策定



地域を磨く・地域を自慢する・自慢を発信する・旅人をもてなす
等基本戦略、プランに基づき環境整備や観光振興施策を実施

- 平成27年度末「品川区都市型観光プラン」を策定

平成28年度 観光資源の整備、観光情報の発信、観光サービスの充実、外国人観光客の誘致推進などを実施。



品川区観光振興協議会を発足！！

しながわ観光の特徴と課題

特 徴

- ・ 発達した交通ネットワークと恵まれた立地
- ・ 水辺環境をはじめとする豊かな自然
- ・ 各地域で行われている文化芸術・スポーツ
- ・ 点在する歴史資源
- ・ 都内随一の元気な商店街

課題

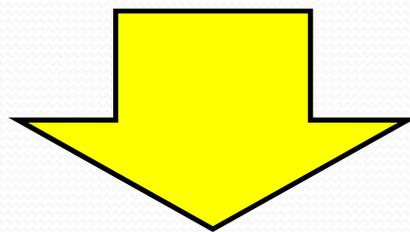
課 題

この10年間で羽田空港国際化や東京オリンピック・パラリンピック開催決定等の外部環境の変化に加え、区内でもビジネス需要の高まりや新施設の開業等の変化が起こっています。今後は、これらの社会情勢の変化を踏まえ、観光振興に取り組んで行く必要があります。



コンセプト・目標

これまでの取り組みを継承、まちづくりの一環として観光振興、新たな時代への適切な対応を行い観光都市づくりに取り組む。



『繰り返し訪れて楽しいまち しながわ』

～日常の生活環境に着目した官民連携による都市型観光の推進～



戦略と施策

A. 観光コンテンツの充実

- ・水辺の観光利用の促進
- ・商店街を活用した観光の推進
- ・スポーツや芸術イベントの誘致・開催

B. 情報発信の強化

- ・ネットを活用した情報発信の充実
- ・観光案内の機能強化
- ・観光情報の多言語化

C. 連携による魅力の向上

- ・関連産業との連携の推進
- ・交通事業者との連携推進



D. 魅力的な環境づくり

- ・交通や情報インフラの充実
- ・安全な観光都市の形成

E. しながわ観光を支える体制の充実

- ・外国語対応な人材育成
- ・観光ボランティアの育成

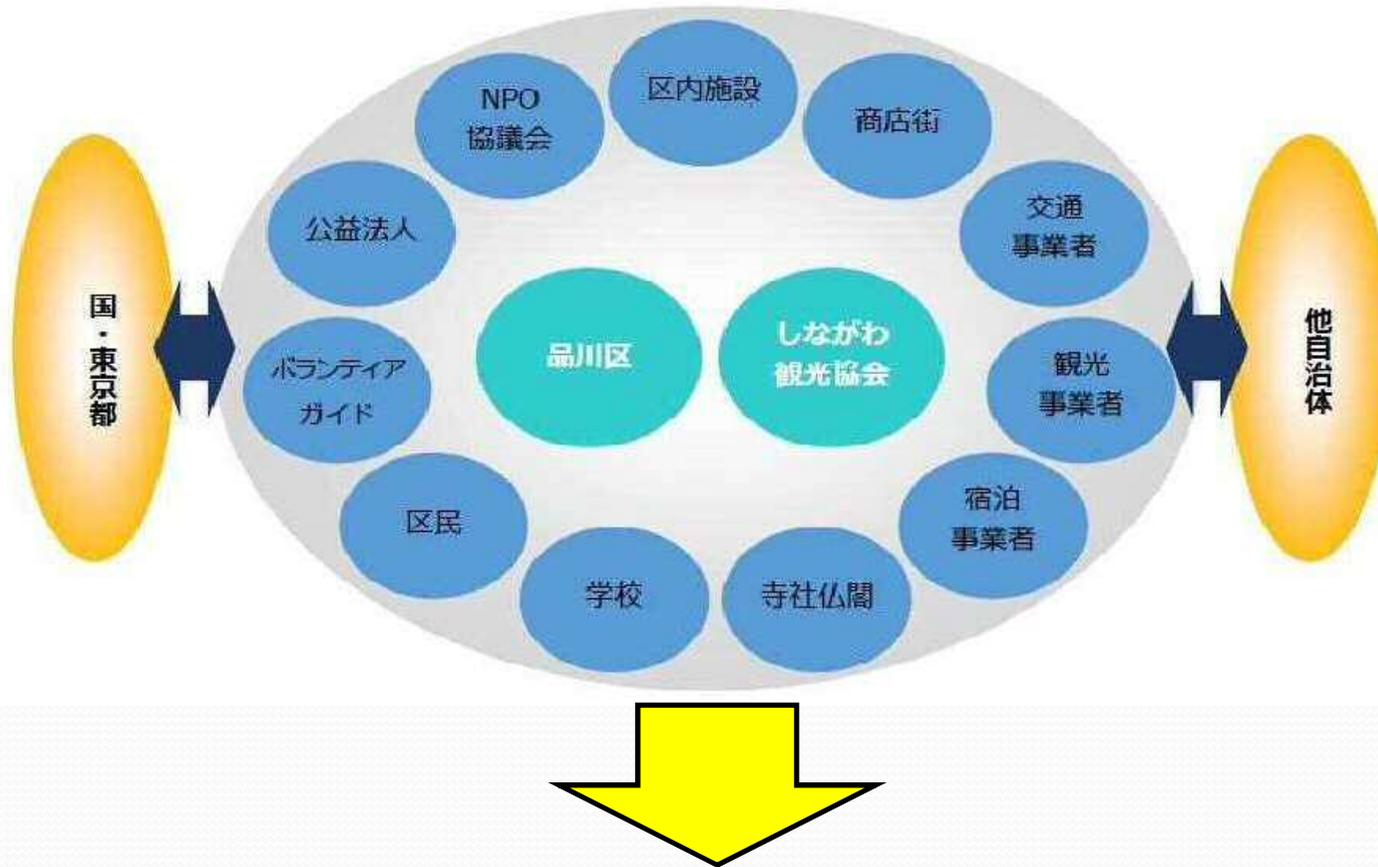
今後の取り組み

「品川区都市型観光プラン」に基づき、品川区観光振興協議会における検討や各種事業の成果を踏まえさらなる観光振興を図っていく。社会情勢を踏まえ長期的展望に立った事業展開、連携体制の強化に取り組みます。



観光振興の推進体制の強化

様々な主体が参画する協議会のイメージ



情報交換、連携・協力を促進し「品川区都市型観光プラン」の実現化・具現化
オール“しながわ”で観光振興！観光まちづくりの推進を！！

ご清聴ありがとうございました。



1 所管事務調査と行政視察

●所管事務調査

地域包括ケアシステム 品川区の現状と今後について
(健康づくり支援・総合事業の展開・認知症支援)

国民健康保険の都道府県化について
(データヘルス計画に基づく特定健康診査など・
平成30年度国民健康保険都道府県化に向けた制度改正)

1 所管事務調査と行政視察

●行政視察

地域包括ケアシステム研究の一環として
認知症の取り組み・共生の福祉・健康づくり支援・住宅面の支援
4項目について視察調査



2 直近で開設の高齢者福祉施設

大井三丁目高齢者憩いの場
(大井三丁目ゆうゆうプラザ)

開設日 平成29年5月8日

開館時間 9時～17時

休館日 日・祝日・年末年始

施設構成

1階 交流室・菜園・事務室

2階 多目的室・ラウンジ



2 直近で開設の高齢者福祉施設

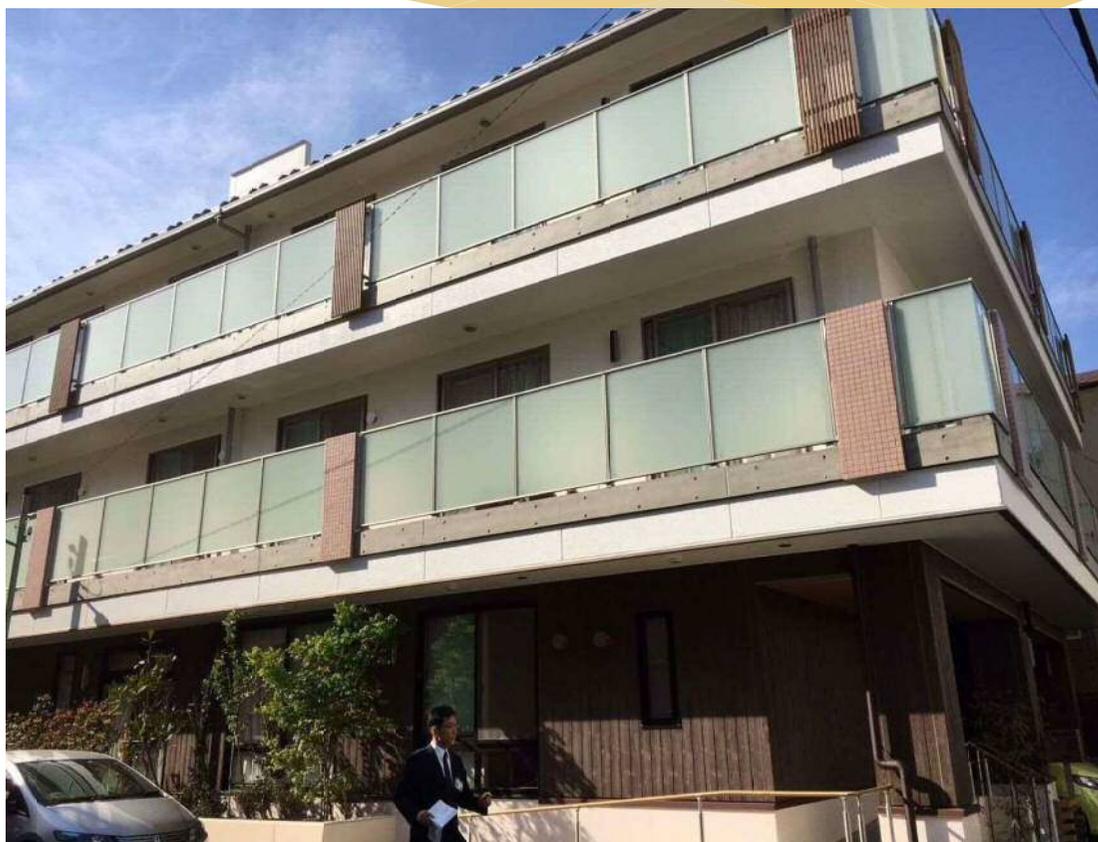
東五反田に開設の認知症高齢者グループホーム・小規模多機能型居宅介護など

開設日 平成29年5月1日

9人2ユニットの認知症高齢者グループホームと、小規模多機能型居宅介護を実施

福祉避難所として機能するため地下には防災備蓄倉庫を備える

地域のよりどころとなるよう、建物1階に地域の方が気軽に利用できる多目的室を設置



2 直近で開設の高齢者福祉施設

品川区立上大崎特別養護老人ホーム

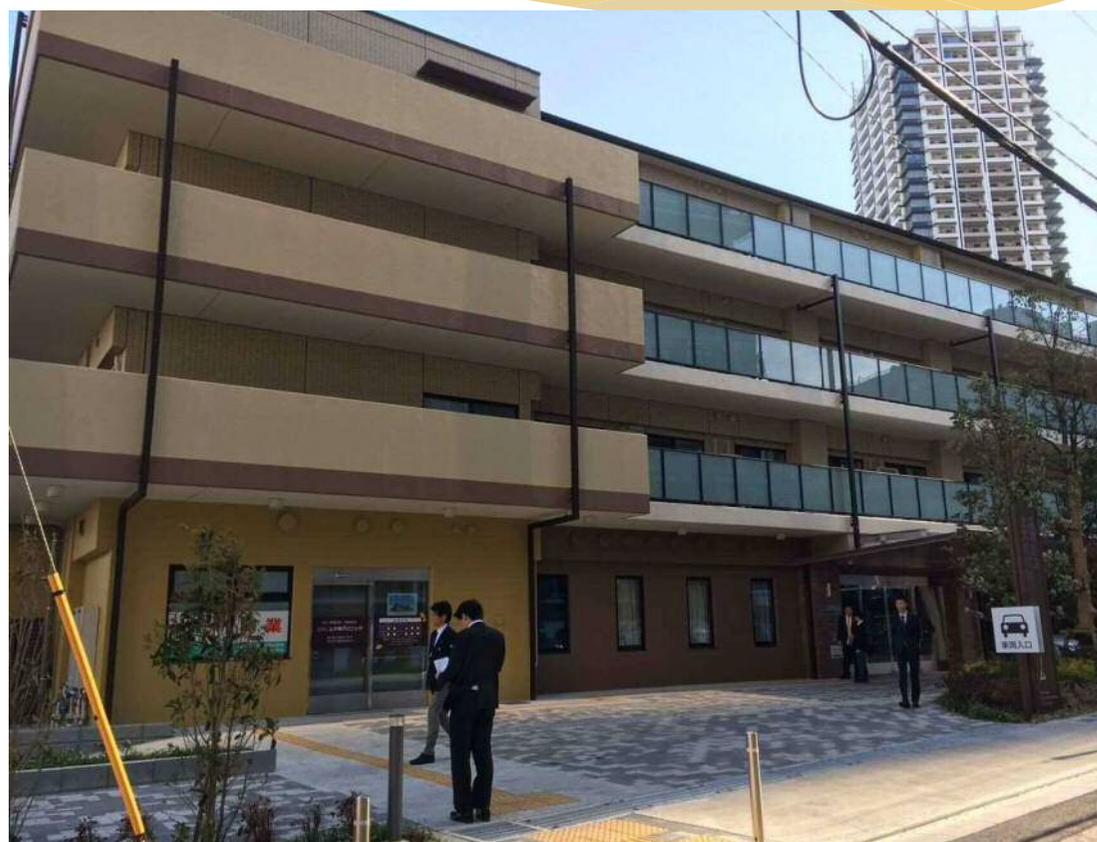
開設日 平成29年6月1日

個室ユニット型特養ホーム
定員102名

個室ユニット型ショートステイ
定員39名

訪問介護事業所・診療所併設

地域交流スペース



3 認知症の取り組み

本年4月発行

65歳以上の高齢者世帯に全戸配布

品川区ホームページよりダウンロード可能

認知症の人と家族を 地域で見守り ささえる

品川“くるみ” 認知症ガイド



認知症は誰でもかかる可能性のある病気です。品川区では、
まちぐるみ、地域ぐるみ、品川ぐるみで

「認知症になっても安心して住み続けられるまちづくり」に
取り組んでいます。この冊子は、認知症を予防したい方、
ご自身やご家族のもの忘れが気になり始めた方に、相談先やサービス、
支援内容などを紹介しています。ぜひご活用ください。



認知症の人と家族が
安心して暮らせるまちに



認知症のことを
もっと知ろう

音声コードについて
このパンフレットの紙面には、
音声コードを印刷しています。
音声コードは、音声読み上げ用
のコードです。このコードを専
用装置で読み上げることにより、
記録されている情報を音声に変
換することができます。この装
置を使用することで、視力の弱
い高齢者や視覚障害者の方に対
する情報提供が可能になります。
●音声コードの横の切り込みで、
コードの位置を知らせています。

認知症の人と家族をささえるために活動する「くるみ」ちゃん



3 認知症の取り組み

認知症が気になり始めた方のために
品川区が作成した相談票です

20点以上の場合は、認知機能や社会生活
に支障が出ている可能性があります

お近くの医療機関や相談機関に
相談してみましょう

品川区 認知症に関する相談票

この相談票は、「認知症」が気になり始めた方のために品川区が作成したものです。
「認知症」は、早期に適切な対応をすることで、進行を遅らせることが可能な場合もあります。まずはご記入いただいた相談票をお持ちになって、お近くの「在宅介護支援センター」や「医療機関」へご相談にお越しください。(ガイドの18~26ページ参照。)

記入日：平成 年 月 日

記入者氏名：

記入者との関係： 本人 ・ 配偶者 ・ 子ども ・ その他 ()

※不明な項目は空白で構いません。



1. 自分でできる認知症の気づきチェックリスト

最もあてはまるところに○をつけてください。

チェック	まったくない	ときどきある	頻繁にある	いつもそうだ
1 財布や鍵など、物を置いた場所がわからなくなることがありますか	1点	2点	3点	4点
2 5分前に聞いた話を思い出せないことがありますか	1点	2点	3点	4点
3 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などのもの忘れがあるとわかりますか	1点	2点	3点	4点
4 今日が何月何日かわからないときがありますか	1点	2点	3点	4点
5 言おうとしている言葉が、すぐに出てこないことがありますか	1点	2点	3点	4点

	問題なくできる	だいたいできる	あまりできない	できない
6 貯金の出し入れや、家賃や公共料金の支払いは一人でできますか	1点	2点	3点	4点
7 一人で買い物に行けますか	1点	2点	3点	4点
8 バスや電車、自家用車などを使って一人で外出できますか	1点	2点	3点	4点
9 自分で掃除機やほうきを使って掃除ができますか	1点	2点	3点	4点
10 電話番号を調べて、電話をかけることができますか	1点	2点	3点	4点

チェックしたら、①から⑩の合計を計算 ➡ 合計点 点

⇒このチェックリストの結果はあくまでもおおよその目安で医学的診断に代わるものではありません。認知症の診断には医療機関での受診が必要です。20点以上の場合は、認知機能や社会生活に支障が出ている可能性があります。お近くの医療機関や相談機関に相談してみましょう。
※身体機能が低下している場合は点数が高くなる可能性があります。

【チェックリストの出典：東京都福祉保健局高齢社会対策部在宅支援課『知って安心認知症』(平成27年7月発行)】

厚生委員会 本年度の委員です



委員長
渡部 茂

副委員長
安藤 たい作

委員
渡辺 裕一
横山 由香理
たけうち 忍
浅野 ひろゆき
鈴木 ひろ子
松永 よしひろ

ご清聴ありがとうございました

ゴミ手数料の改定（値上げ）

「品川区廃棄物の処理および再利用に関する条例改正」 建設委員会

【目的】

「現行手数料と処理原価の乖離（かいり）を
解消し、受益者負担の適正水準を確保すること」

⇒ 「ごみ処理にかかった費用を、
サービスを受ける受益者（区民）に、
適正な負担（手数料）をしてもらう」

ゴミ手数料の改定（値上げ）

「品川区廃棄物の処理および再利用に関する条例改正」

建設委員会

【ごみ手数料の仕組み】

■ 「ごみ」とは（定義）...可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ（家庭＋事業所）

■ ごみ処理の過程と役割分担

① 「収集運搬」   は、

② 「焼却」  は、清掃一部事務組合

③ 「埋立」  は、東京都

手数料（23区）＝ 収集運搬経費 ÷ ごみの量

動物死体…焼却を委託

ゴミ手数料の改定（値上げ）

「品川区廃棄物の処理および再利用に関する条例改正」 建設委員会

【改定案】

- 事業ごみ… 1 kg当たり36円50銭を**40円**に
- 家庭ごみ…大量・臨時ごみを**40円**に
- 粗大ごみ…上限額2,400円の**改定はしない**
- 動物死体…2,600円を**3,000円**に

ゴミ手数料の改定（値上げ）

「品川区廃棄物の処理および再利用に関する条例改正」 建設委員会

【質疑のポイント】

1. 手数料はなぜ高くなるのか

2. 受益者負担は適正なのか

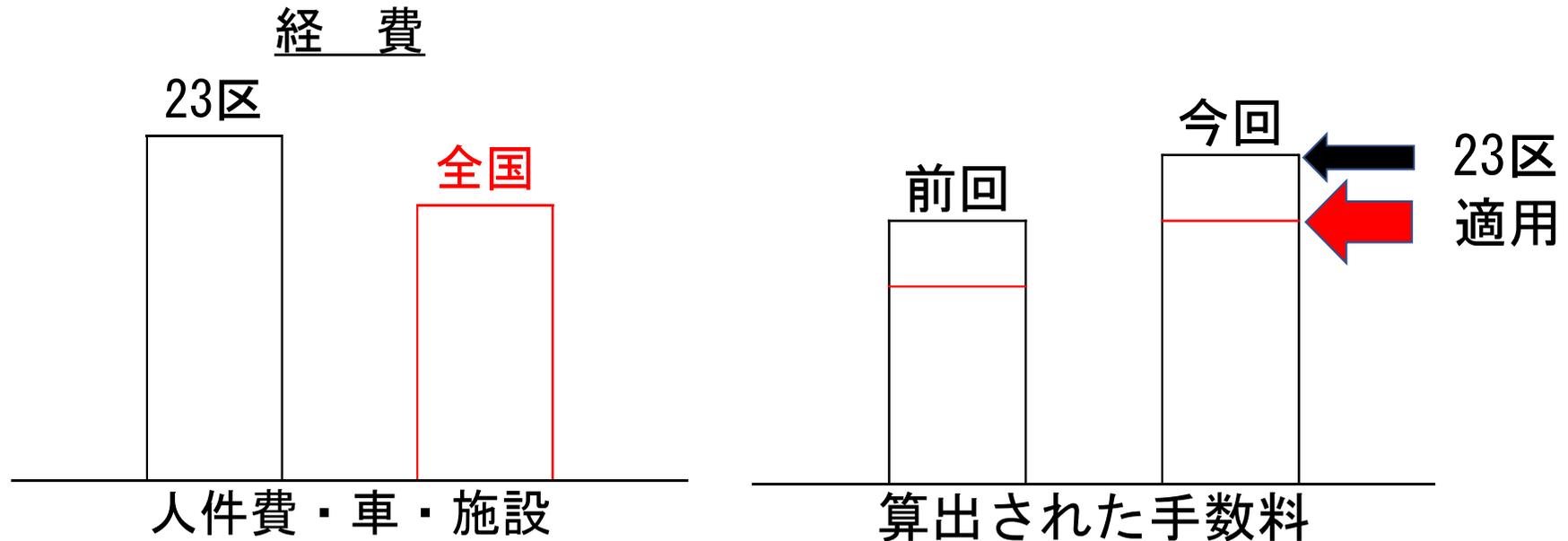
ゴミ手数料の改定（値上げ）

「品川区廃棄物の処理および再利用に関する条例改正」

建設委員会

【質疑ポイント1】 手数料はなぜ高くなるのか

手数料（23区） = 収集運搬経費 ÷ ごみ量

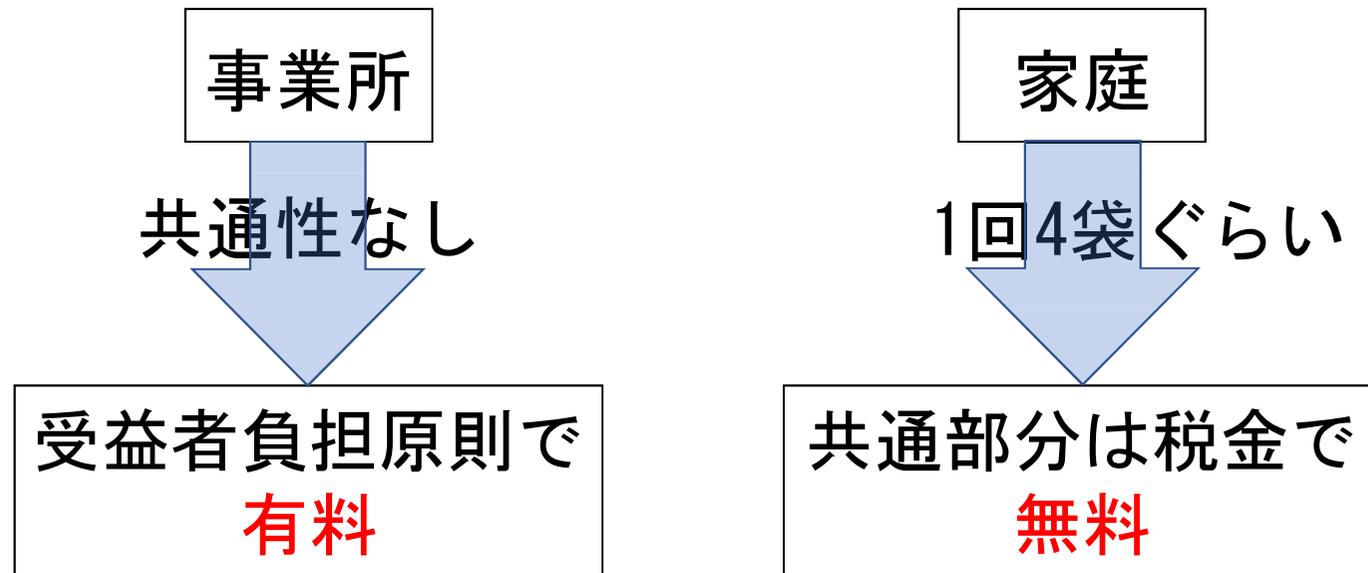


ゴミ手数料の改定（値上げ）

「品川区廃棄物の処理および再利用に関する条例改正」 建設委員会

【質疑ポイント2】 受益者負担は適正なのか

「事業ごみは有料、家庭ごみは無料。公平、適正といえるのか？」



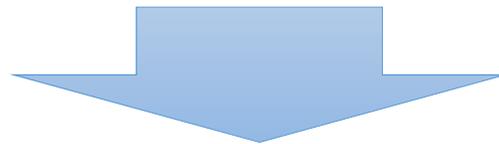
ゴミ手数料の改定（値上げ）

「品川区廃棄物の処理および再利用に関する条例改正」 建設委員会

【結論】

反対意見 「中小企業や商店街は厳しい経済状況。
ごみ処理手数料を上げるのではなく、
支援が必要」

賛成意見 「コスト抑制努力してもコスト増の現実。
手数料の値上げは認める」



採決：賛成多数

区議会・文教委員会



(自)鈴木 博



副委員長
(自)沢田 洋和



委員長
(公)あくつ 広王



(公)新妻 さえ子



(共)飯沼 雅子



(民)あべ 祐美子



(共)のだて 稔史



(無)高橋 しんじ

29年度の保育定員拡大

1044人

※平成22年度から28年度で既に4463人の定員拡大済み

	園名	開設予定地	開設時期	定員
1	(仮称)まなびの森保育園 西大井	西大井1丁目	H29.4.1	100人
2	(仮称)えがおの森保育園 ・かつしま	勝島1丁目	H29.4.1	73人
3	(仮称)このえ中延保育園	中延6丁目	H29.4.1	70人
4	(仮称)ひがしやつやま保育園	北品川1丁目	H29.4.1	60人
5	(仮称)キッズガーデン 北品川	北品川6丁目	H29.4.1	90人
6	(仮称)ひがしおおい さくらさくほいくえん	東大井2丁目	H29.4.1	64人
7	(仮称)大空と大地の なーさりい東五反田園	東五反田4丁 目	H29.4.1	108人
8	(仮称)モニカ東中延園	東中延1丁目	H29.8.1	60人
9	(仮称)青物横丁えほん 保育園	東品川4丁目	H29.4.1	80人
10	(仮称)西大井えほん保育園	西大井6丁目	H29.4.1	80人
11	石井保育園 (定員拡大)	小山2丁目	H29.8.1	27人
	計			812人

2016.11.07
文教委員会資料より

	園名	開設予定地	開設時期	定員
1	(仮称)キッズガーデン 南大井	南大井6丁目	H29.4.1	90人
2	(仮称)にじいろ保育園 南大井	南大井1丁目	H29.8.1	72人
3	(仮称)鮫洲かがやき保育園(認 証)	東大井1丁目	H29.4.1	40人
4	(仮称)ユニバースキッズ 大森駅前保育園(認証)	南大井6丁目	H29.4.1	30人
	計			232人

合計 1044人

但し、現状は...

1164人

4月からの入園申請者 3,575人

↓↓ ↓ ↓ ↓ ↓

不承諾通知 1,164人

↓↓ ↓ ↓ ↓ ↓

待機児童 100名以上の見込み

↑ ↑ ↑ ↑

解消できない理由：予想を上回るファミリー
世帯の流入、保育園利用者の増加

私立保育園に対する家賃補助と 職員宿舎借上げ支援事業 について

平成28年第4回定例会 第94号議案
「平成28年度品川区一般会計補正予算
（歳出 文教委員会所管分）」



私立保育園に対する開設後家賃補助金の拡充について

1. 目的

区内に私立保育園開設を誘致するため、賃貸ビル等で保育園を開設する場合の家賃補助を拡充する。

2. 事業概要

区分	補助対象	補助期間	補助内容	負担割合
(旧) 区制度	平成26年4月1日以後の新規開設園 認可保育所 9園 認証保育所 3園	開設後5年間 (平成26年度中の開設は、3年間)	・家賃月額のうち坪単価1万2千円を超える額を補助 ・1坪あたり、月額1万円を上限	区10/10
(新) 都制度	平成24年4月1日以後の新規開設園 認可保育所 23園 地域型保育事業 7園 認証保育所 7園	開設後5年間	・家賃月額から公定価格の賃借料加算を引いた額を補助 ・家賃年額(12月分)と年額2千万円(公示価格を参考に算出)を比較して、低い額を上限	都3/4 区1/8 事業者1/8

3. 新制度の適用

平成28年11月から平成33年3月末までに区内に新規開設した事業者

4. 事業予算(予定)

88,793千円

(内訳) 区制度と都制度の差額増分(11月から3月までの5か月分)

認可保育所(23園)	78,527千円
地域型保育事業(7園)	1,634千円
認証保育所(7園)	8,632千円

保育従事職員宿舍借り上げ支援事業の拡充について

1. 目的

保育人材を確保するため宿舍借り上げ支援を拡充し、補助対象者を全ての保育士、その他従事職員に拡大する。

2. 現行制度

対象施設	対象職員	対象宿舍	対象経費	補助額	負担割合
認可保育所 小規模保育事業 認証保育所 ぶりすくーる西五反田 ひろまち保育園	採用後5年以内の保育従事職員	原則、品川区(園から1時間以内の地域も可とする。)	家賃 共益費 管理費 礼金 更新料	(月額上限) 82,000円	国1/2 都1/4 区1/8 事業者1/8

3. 拡充内容

(1) 対象職員を全職員に拡大

採用5年以内の職員に加え、6年目以降の職員を対象に追加する。

(2) 礼金を別枠で補助

月額上限の範囲内で補助していた礼金について、家賃とは別枠で補助する。

4. 新制度の適用

平成28年11月から平成32年度までに事業者が借り上げた賃貸マンション、アパート(礼金の別枠補助は、平成28年11月から平成29年3月までの特例措置)

5. 事業予算(予定)

8,670千円

(内訳) 事業内容拡充分

認可保育所(5園 6人)	3,467千円
小規模保育事業(2園 2人)	1,409千円
認証保育所(4園 10人)	3,794千円

Q、宿舎借り上げで、「家賃」とは別枠で今回、「礼金」を補助することになった理由は何でしょうか？また、二年に一回の「更新料」が、保育士にとって一番大きな負担だと思うので、別枠で補助して頂きたい。



A 委員

A、「礼金」を別枠で補助した理由は、新年度の保育士の新規採用に効果を期待しての趣旨です。ご指摘の「更新料」の負担については、今後の動向を見て決めてまいります。

理事者



Q、保育事業者が借上げた宿舎に入居した場合、事業者に一括して宿舎借上げ補助金が支払われる制度ですが、既に個人で契約して賃貸住宅にお住まいの保育士にも適用して頂きたい。



B 委員

A、現在お住まいの賃貸住宅との契約者を、個人から保育事業者へと変更すれば、引き続き同じ住宅で補助を受けることが可能です。



理事者



C 委員

Q、そうは言っても、契約者の変更は、オーナーとの交渉のハードルが高いので、保育士にとって使い勝手のよい仕組みにしてください！

審議後の採決では全員賛成し、
平成28年度補正予算案(歳出 文教委員会所管分)
は文教委員会全会一致で可決しました！



予算特別委員会



◇平成 29 年度予算の概要

一般会計 1,645 億 3,600 万円、前年度比△2.0%減の予算を編成

■当初予算の比較

(単位:千円,%)

会計区分	平成 29 年度	平成 28 年度	増減額	伸率
1 一般会計	164,536,000	167,898,500	△3,362,500	△2.0
2 国民健康保険事業会計	44,269,820	44,574,294	△304,474	△0.7
3 後期高齢者医療特別会計	7,932,711	7,638,131	294,580	3.9
4 介護保険特別会計	24,939,418	23,681,481	1,257,937	5.3
5 災害復旧特別会計	1,500,000	0	1,500,000	皆増

■一般会計 歳入

(単位:千円,%)

区 分	平成 29 年度	平成 28 年度	増減額	伸率
特別区税 (区民税、たばこ税、軽自動車税)	44,479,120	43,316,600	1,162,520	2.7
特別区交付金 (都区財政調整交付金)	38,800,000	37,400,000	1,400,000	3.7
地方消費税交付金	10,300,000	9,200,000	1,100,000	12.0
国庫支出金	31,612,272	36,177,994	△4,565,722	△12.6
都支出金	12,379,248	13,062,980	△683,732	△5.2
基金繰入金	8,064,396	10,383,791	△2,319,395	△22.3
特別区債	1,127,600	0	1,127,600	皆増
その他	17,773,364	18,357,135	△583,771	△3.2
計	164,536,000	167,898,500	△3,362,500	△2.0

■一般会計 歳出

(単位:千円,%)

区 分	平成 29 年度	平成 28 年度	増減額	伸率
議会費	845,732	837,355	8,377	1.0
総務費	18,630,727	17,882,331	748,396	4.2
民生費	74,635,429	74,208,320	427,109	0.6
衛生費	11,820,337	11,393,860	426,477	3.7
産業経済費	3,211,986	2,666,353	545,633	20.5
土木費	36,990,579	44,786,069	△7,795,490	△17.4
教育費	16,247,048	13,669,831	2,577,217	18.9
公債費	1,854,162	2,154,381	△300,219	△13.9
予備費	300,000	300,000	0	0.0
計	164,536,000	167,898,500	△3,362,500	△2.0

予算のポイント

- 1 町のにぎわい充実、都市型観光プラン、オリンピック・パラリンピック機運醸成
- 2 子どもたちの健やかな成長、総合的待機児童対策、学校施設整備
- 3 安全・安心のまちづくり、防災対策、地域包括ケア、障害者施策

品川区3競技の応援マスコットキャラクター誕生

◇事業目的

東京2020オリンピック・パラリンピックの区内開催競技(ホッケー、ビーチバレーボール)と応援競技(ブラインドサッカー)の3競技を周知し、各競技の認知度向上と東京2020に向けた機運醸成を図る。

◇事業内容

1. 品川区3競技応援マスコットキャラクターの展開

3競技の認知度向上のため、区民の公募により3競技応援マスコットキャラクターを決定した。それぞれ着ぐるみを作成し、イベント等に活用して周知を行う。

2. 品川区3競技PR映像の制作・配信

3競技のPR動画を区独自で制作し区公式ユーチューブチャンネルなどで配信

3. 大会エンブレム庁舎壁面への掲示

東京2020の公式エンブレムを
庁舎壁面に掲示

◇事業予算 10,821千円

内訳

1. 7,016千円
2. 2,359千円
3. 1,446千円

協議名	ホッケー	ビーチバレーボール	ブラインドサッカー
キャラクター名	シナカモン	ビーチュウ	やたたま
特徴	熱血精神のユリカモメカモン！が口癖	ビーチで育ったネズミ 体重はビーチバレーボール3個分	勝利を導くヤタガラスにあこがれる妖怪・猫又しっぽが3本！？
イラスト			

パラリンピックの機運醸成・障害者スポーツを身近に

◇事業目的

パラリンピック競技の体験や交流イベント、啓発講演会を開催し、参加者が競技を身近に体感することにより、東京2020パラリンピックに向けて開催競技および障害者スポーツ全般への振興を図る。

◇事業内容

1. ブラインドサッカー 公式戦・出前体験教室の開催

(1)公式戦の開催

- ・「ブラインドサッカー東日本リーグ2017」開催
- ・ブラインドサッカー体験教室も同時開催

(2)出前体験教室(10回程度開催)

- ・対象:区内で定期的に活動している団体
- ・内容:団体が日頃活動している場所に講師、視覚障害者選手を派遣

2. 車椅子バスケットボール 国際親善大会の練習会場に区立総合体育館

パラリンピック競技の車椅子バスケットボールの国際親善大会に伴い、区立総合体育館が練習会場となる。期間中に、出場する外国チームと区民(子どもが中心)との交流イベントを区立総合体育館や区内学校で実施する。

(1)期間:8月26日(土)~30日(水)

(2)会場:区立総合体育館(東五反田2-11-2)

3. パラリンピック啓発講演会

パラリンピック競技をテーマとした講演会・体験会の開催

◇事業予算 11,815千円

(内訳) ブラインドサッカー出前体験教室	1,222千円
ブラインドサッカー公式戦(東日本リーグ)の開催	2,803千円
車椅子バスケットボール交流イベント等	3,840千円
パラリンピック啓発講演会	3,950千円



町会・自治会の活動助成を拡充

◇事業目的

区では、平成28年4月1日から23区では初となる「品川区町会および自治会の活動活性化の推進に関する条例」を施行し、地域コミュニティの核である町会・自治会の活動活性化のため、支援の姿勢を明確にした。

平成29年度は、より一層の町会・自治会活動の活性化をめざし、各種支援の充実を図る。

◇事業内容

○安心して活動できるように

町会・自治会が従来加入している保険は、交通安全運動や夜警など、危険性を伴う事業については適用対象外となっている。町会・自治会員が安心して活動できるよう、これらの活動も適用対象となる保険への加入を進めるため、助成を拡充する。

○活動拠点となる会館への支援

会館を持たない町会・自治会が、活動の拠点施設を借りる場合に、賃借料の一部を補助する。

また、会館所有を促進するため、町会・自治会への建設補助金の限度額を、1,000万円から2,000万円に増額する。

既に会館を所有する町会・自治会には、耐震診断・耐震補強設計・耐震改修の補助を継続。

○新規事業応援助成の充実

町会・自治会への加入促進・活動活性化を図るための事業を促進するため、新たな事業を開始する際の助成を現40町会から50町会へ増。

◇事業予算 99,040千円

(内訳) 保険加入助成の充実	21,640千円
活動拠点賃借料補助【新規】	4,500千円
町会・自治会館等建設補助金の充実	34,000千円
耐震診断・補強設計・耐震改修補助の継続	29,400千円
活動活性化支援助成の充実	9,500千円

八潮地区 まちづくり検討スタート

◇事業目的

八潮団地は入居から30年余が経過し、団地内の人口バランスが少子高齢化へ大きく変わってきている。住民ニーズの変化や団地の老朽化の進行を見据えた将来の八潮団地のあり方を考えるべきとの声が地域からも上がっていることから、八潮における今後のまちづくりについて検討を開始する。

◇事業内容

1.勉強会の開催

住民ニーズの変化や将来の団地の老朽化への進行を踏まえ、まちづくり検討の前段階として地域の勉強会を開催する。

- (1) 都市再生機構や東京都住宅供給公社等の各団体や地元自治会との勉強会
- (2) 今後の八潮のまちづくりに向けた地域との意見交換の場

2.まちづくり検討

現状の課題整理と都内他地区における団地再生の実例調査等を行う

◇事業予算

5, 150千円

(内訳)

勉強会開催経費 150千円

まちづくり検討業務委託 5,000千円



小学校と幼稚園の改築

◇事業予算 (内訳)	3, 553, 760千円
芳水小学校改築工事等	1,166,286千円
城南小学校・城南幼稚園改築工事等	1,026,974千円
後地小学校用地購入・改築工事実施設計等	1,287,400千円
鮫浜小学校改築工事基本設計	73,100千円



芳水小完成予想図

校庭の人口芝生整備

◇事業予算 (内訳)	171, 980千円
1. 大井第一小学校	
(1)工事費	110,000千円
(2)設計・監理費	3,540千円
2. 小山小学校	
(1)工事費	57,000千円
(2)設計・監理費	1,440千円



平成28年度実施校 伊藤小学校

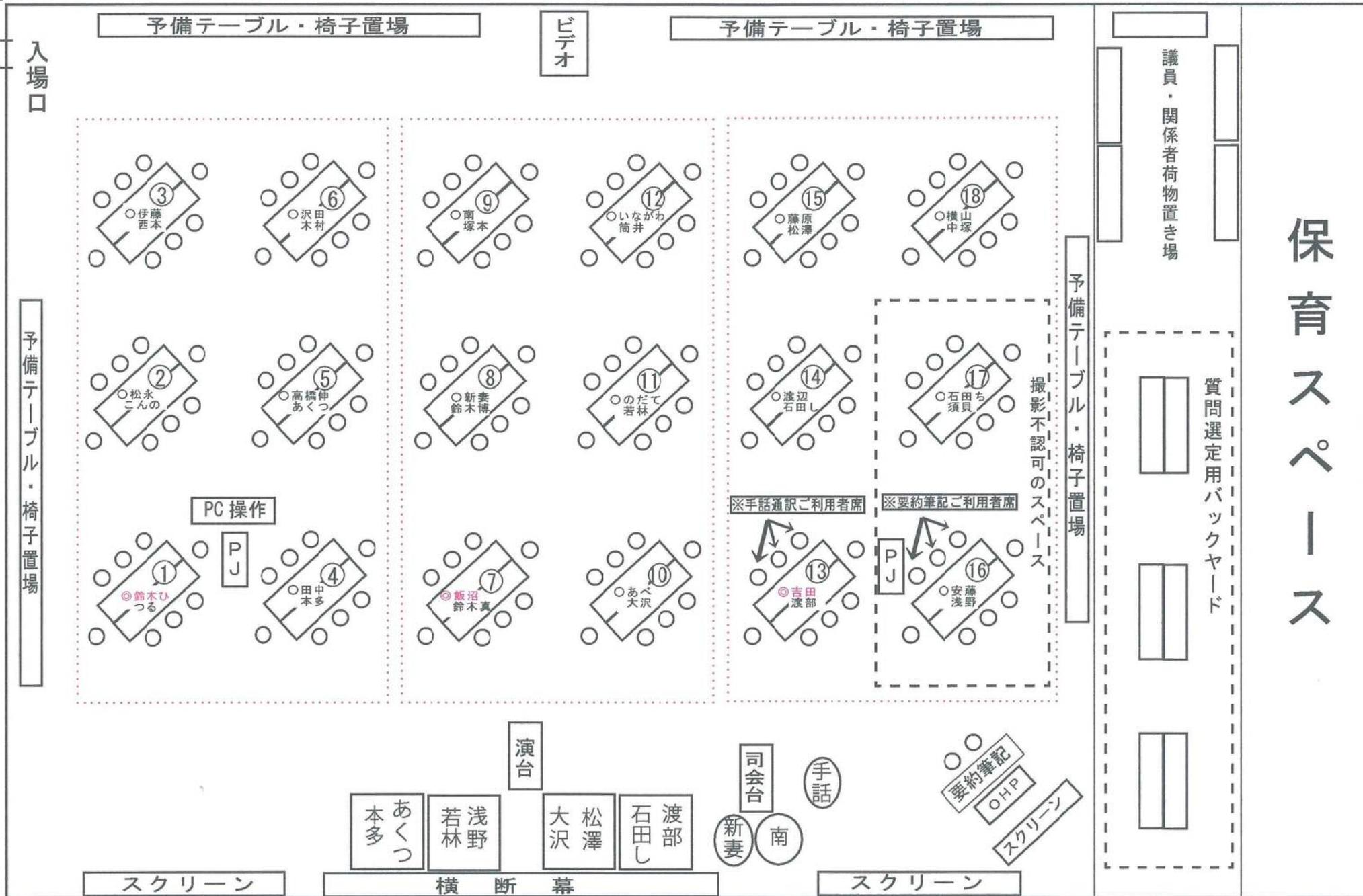
受付

← エレベータ

トイレ

会場図

喫煙スペース
エレベータ →



「第2回品川区議会議会報告会」進行表

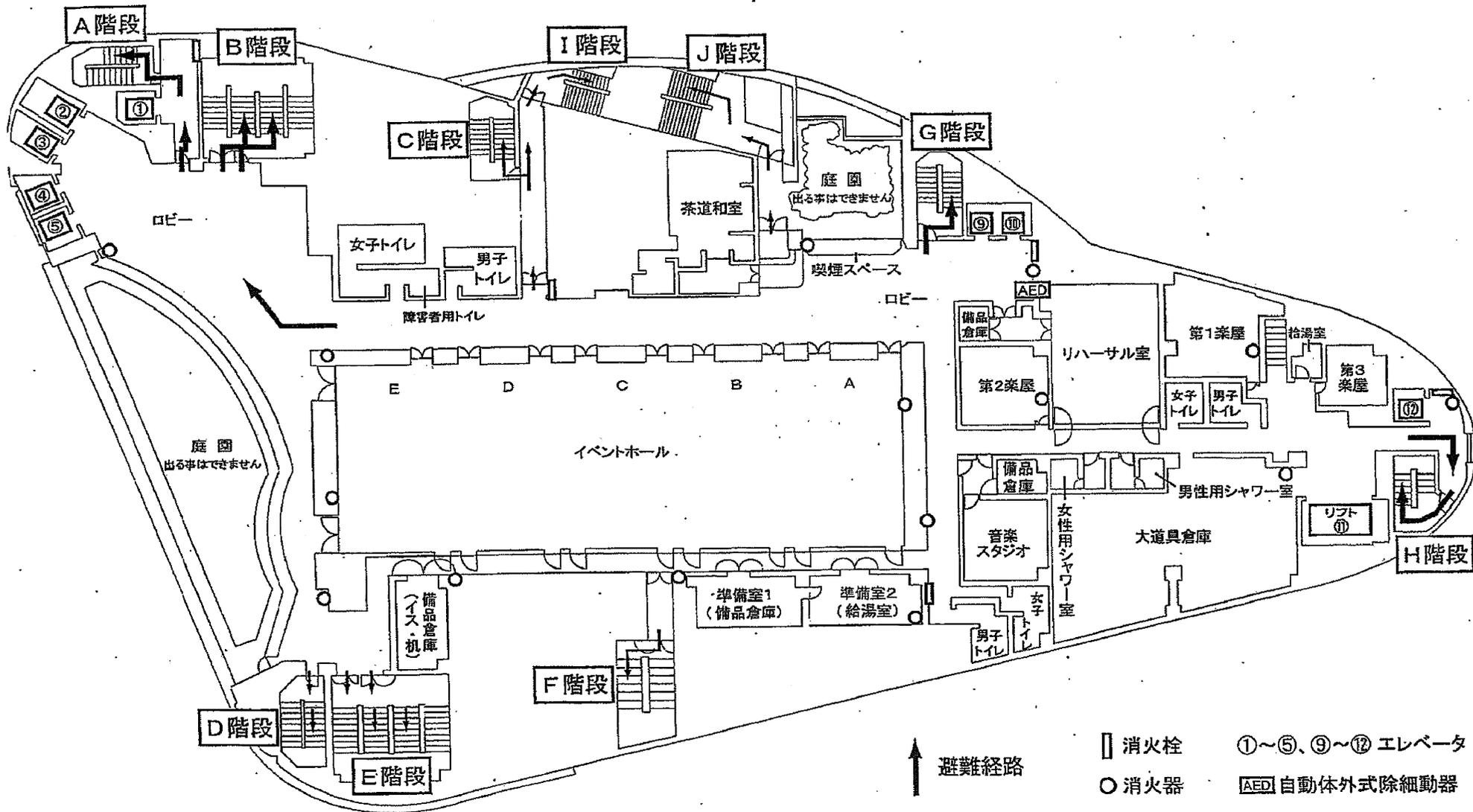
平成29年5月13日(土) 午後3時開会
 きゅりあん7Fイベントホール
 品川区東大井5-18-1 03-5479-4100

2017/5/8 13:40 現在

時間帯	主要行事	関連事項	役員体制				人数	会場図
			担当	正	副			
13:00	議員・関係者集合、役員会		会場責任者	大沢	浅野		2	
			進行	たけうち	石田(秀)	高橋(し)、つる	4	
			司会	南	新妻		2	
13:15	会場設営スタート		意見交換会	大倉	高橋(し)		2(1)	
			運営	つる	高橋(伸) <照明・音響>	高橋(し)、渡辺、飯沼、あべ、吉田、鈴木(ひ)、筒井、西本	10(8)	
14:00	登壇者(司会・議長・各委員長・副議長)リハーサル		受付	伊藤		鈴木(真)、鈴木(博)、塚本、中塚、木村、須貝	7	
14:30	受付・入場開始	配布物入り封筒の配布	会場設営	石田(秀)	沢田	高橋(し)、大沢、浅野、渡辺、飯沼、あべ、吉田、西本、松澤、渡部、本多、若林、あくつ、石田(し)	16(7)	
			案内	松永	石田(ち)	横山、こんの、安藤、のだて、筒井、田中	8(7)	
14:55	「第2回品川区議会議会報告会」 一、注意事項等 新妻さえ子 5分	司会:南、新妻 意見交換会司会:大倉、高橋(し)	備品	石田(ち)	新妻	横山、あくつ、いながわ、筒井	6(1)	
15:00	一、開会あいさつ たけうち忍 2分		記録	藤原	いながわ		2(1)	
			パソコン操作	つる	高橋(し)		2(0)	
15:02	一、主催者あいさつ 大沢真一議長 5分		救急対応	鈴木(博)	鈴木(ひ)		2(0)	
							63(40)	
15:07	一、常任委員会報告 ①総務委員会 松澤利行委員長 6分 ②区民委員会 石田しんご委員長 6分 ③厚生委員会 渡部 茂委員長 6分 ④建設委員会 若林広毅委員長 6分 ⑤文教委員会 あくつ広王委員長 6分		備品・設営					
			品目	数量	備考			
			配布物	200	式次第、質問用紙、アンケート、お願い、わたしたちと区議会、委員会報告一覧、委員会報告資料、わが家の防災ハンドブック、備用品チラシ、くすみプラン100部			
			横断・縦幕	3	横断幕1枚、縦幕2枚(2・7F) ※事務局用意			
			DVD	2	休憩時に議会紹介番組を放映			
			受付備品	一式	会場図(大)、撮影不認可席・要約筆記・手話・磁器ループ案内表示			
15:37	一、予算特別委員会報告 予算特別委員長 本多健信委員長 8分	区議会紹介番組	設営備品	一式	パソコン1台、受付表示、登壇者表示、保育スペース表示、撮影不可表示、粘着テープ、ゴミ袋、他			
15:45	休憩(区議会紹介番組放映) 15分	※休憩中 ①質問用紙の回収 ②質問の選定 ③回答の準備 ④議員用の椅子の準備	議員名札	40				
			報告会	200	質問用紙とアンケート記入用の鉛筆			
			意見交換会	一式	模造紙(1枚)、付箋、サインペン			
			保育スペース	一式	マット、マット予備(公明準備)、おもちゃ			
16:00	一、質問への回答 各委員長より 10分		ビデオ、デジカメ	1	記録担当(ビデオ:渡部、デジカメ:藤原、鶴)			
16:10	一、意見交換会 司会:大倉、高橋しんじ ・クイズ 7分 ・身近な防災について 23分 ・各テーブルの意見発表 6分 (3名:鈴木ひ、飯沼、吉田)	意見交換会 ①災害に対して、不安に思っていること ②家庭や自分で準備、心がけていること ③家庭や自分で実行しようと思ったこと	要約筆記	一式				
			救急箱	1	公明準備			
			無線	5	公明準備(たけうち、つる、伊藤、松永、田中)			
			BGM	1	公明準備			
			きゅりあん備品					
			看板	3	吊り看板1、タテ看2(7F,2F)			
			マイク	2	壇上1、司会1			
16:46	一、閉会あいさつ 浅野ひろゆき副議長 3分	アンケート回収	テーブル・椅子	一式				
16:49	終了		演台、司会台	2				
			プロジェクター	2				
17:00	会場片付け		スクリーン	3	(1基は議会の備品持参)			
			パソコン操作台	1				
17:30	役員会(場内)		磁器ループ受信機	10	事前の充電をきゅりあん打ち合わせで依頼			
			コードリール	2				
17:45	一切終了・解散		ホワイトボード	2				
			車いす	1				
					参加者数	特記事項		

7階 避難経路

非常の際は、係員・非常放送の指示に従い避難してください
 ※非常の際は、エレベータはご利用になれません、階段をご利用ください





未来を語ろう

@ 議会報告会



- 議会のしくみ
 - 議会改革の取り組み
 - 委員会報告
 - 意見交換会
- 「身近な防災について」

開場 午後2時半
会場 きゅりあん7階イベントホール
入場無料 途中入退場可

5月13日(土) 午後3時～午後5時

当日、直接会場までお越しく下さい
手話通訳・要約筆記・保育スペースあり

主催：品川区議会

問合せ：区議会事務局 TEL.03-5742-6808 fax03-5742-6895



未来を語ろう

@ 議会報告会



来て 見て 聴いて、
議員とともに区政を語りましょう。



あなたの「もっと知りたい！」に
直接お応えします。



- 議会のしくみ
- 議会改革の取り組み
- 委員会報告

意見
交換会
テーマ

身近な 防災について

5月13日 土

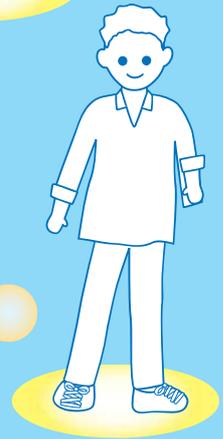
午後3:00～午後5:00
開場：午後2:30

きゅりあん7F イベントホール

入場無料（途中入退場可）
当日、直接会場にお越しく下さい
手話通訳、要約筆記、保育スペースあり

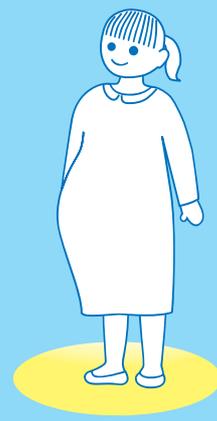
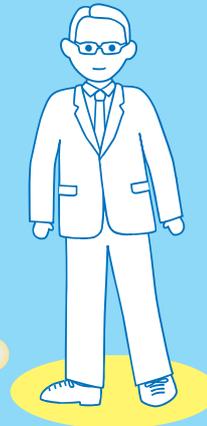
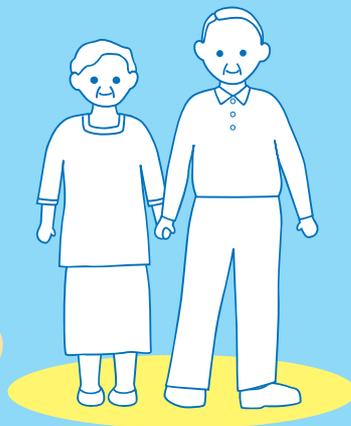
主催：品川区議会

問合せ：区議会事務局 Tel 03-5742-6808 Fax 03-5742-6895



未来を語ろう @議会報告会

来て見て聴いて、議員とともに区政を語りましょう。
あなたの「もっと知りたい！」に直接お応えします。



5/13 (土)

15:00-17:00

(14:30 開場)

きゅりあん7階
イベントホール

議会のしくみ

議会改革の取り組み

委員会報告

議員との意見交換会 テーマ：「身近な防災について」

<入場無料> 途中入退場可

当日、直接会場にお越しください

手話通訳・要約筆記・保育スペースあり